

## 衛星通信と私

メーガン・シェイト  
米国航空宇宙学会(AIAA)本部



Megan Schiedt さんの写真 .

私は大学で歴史を勉強しましたが、1994年、米国航空宇宙学会(AIAA)に勤めるようになってから、航空宇宙とそれに関連した分野に興味を持つようになりました。AIAAは、航空宇宙における米国最大の学会です。

最初、*AIAA Bulletin* の編集に携わりました。*AIAA Bulletin* は月刊誌 *Aerospace America* の一部であり、AIAA メンバーへの興味ある内容が記載されています。メンバーに関するニュース、セクション、特別行事、学会内での出来事などが中心です。さらに、AIAA が主催する会議のプログラムもここに記載されています。

*AIAA Bulletin* の編集者として、会議主催者の方々と一緒に、プログラムに関する情報を集め、記事を書きました。各号のレイアウトも担当しました。この仕事にて、各メンバーに対する、AIAA の様々な活動、製品、サービスを学びました。

*AIAA Bulletin* を1年間担当した後、2年間、*Aerospace America* の編集を担当しました。航空宇宙産業の最新の記事が *Aerospace America* に掲載されます。この雑誌の役割は、世界の航空宇宙関連のプロジェクトに携わる多くのエンジニア、科学者、および技能者と投稿者を繋ぐことです。毎月、航空宇宙分野の、設計、エレクトロニクス、素材、コンピュータアプリケーション、科学、及び、政策に関わる記事を提供します。

*Aerospace America* の編集者として、毎号、作者、編集者、雑誌のデザイナーの方々と一緒に仕事をしました。一番大変だったのは、12月号の”Year in Review”特集の編集でした。この号には、AIAA の各技術委員会から、1年間の活動報告

が寄せられます。この雑誌に取り組むことで、航空宇宙産業界とその技術動向を学びました。

この後、2年間、編集長として AIAA Book の出版を担当しました。AIAA では論文集、大学レベルの教科書シリーズ、及び、航空宇宙のトピックを中心とした一般啓蒙本を発行しています。



AIAA のウェブサイト

AIAA 教育シリーズは、航空宇宙分野の専門家や大学教授により書かれた教科書です。”The Progress in Astronautics and Aeronautics”には、1960 年からの論文が集められており、航空宇宙分野の急速な技術の進歩を伺うことが出来ます。

AIAA では、専門分野から一般的なものまでをカバーした幅広い航空宇宙に関する出版物を刊行しています。

さらに、”AIAA Case Study”は航空宇宙分野の第一線の設計者により書かれたもので、航空機や人工衛星の設計、製造、及び、試験でのケーススタディを紹介したもので、迫力があります。

AIAA Book の編集長として、出版事業の収益 / 経費の管理もやりました。さらに、”International Reference Guide to Space Launch Systems, Third Edition”等の本の出版も行いました。このベストセラーの参考書は、最も信頼できるもので、ブラジル、中国、ヨーロッパ、インド、イスラエル、日本、ロシア、ウクライナ、及び、米国の打ち上げ機を網羅しています。第三版では、沢山の写真や図を取り入れ、大幅な改訂を行いました。政策 / 計画担当者、設計者、ロケット調達担当者、さらに、学生の方々から、便利なデータ検索ソースと重宝されています。

次の2年間、AIAA の営業部に移り、マーケティングを担当しています。World Space Congress-2002 (WSC-2002) と、AIAA のウェブサイトが現在の私の担当です。

WSC-2002 は10年前に始まった宇宙関係の専門家の最も重要な会議です。今年 は米国テキサス州ヒューストンで10月10日から19日まで開催されます。



WSC2002 のキャンペーンにて

WSC-2002 は、34<sup>th</sup> Scientific Assembly of the Committee on Space Research (COSPAR)、53rd International Astronautical Congress of the International Astronautical Federation (IAF)、International Academy of Astronautics (IAA)、及び、International Institute of Space Law (ISL)を結合させた学会です。

宇宙関連の幅広い分野から 4000 件以上の論文、各メーカー/機関の展示、40 件のプレナリーセッション、及び、1000 件のポスターセッションを予定しています。

科学、技術、インフラストラクチャー、ミッション、法律、ビジネス、アプリケーション、及び、教育他の様々な議題があります。特別プレナリーでは、「国際宇宙ステーション利用」、「宇宙開発の他産業への応用」、「生命科学とバイオ」、及び、「今後25年間の宇宙開発ビジョン」の4テーマを取り上げています。

2002年10月、ヒューストンでお会いしましょう。